はまごう小だより

挨拶と笑顔でつながろう！

伊勢市立浜郷小学校
令和３年10月15日
発行者　平生　理恵
第１６号

前期が終了しました。

まだまだ日差しは強いものの、窓から入ってくる風はすっかり秋の風です。70日ぶりに学校再開をし、本日、前期の終業式を行いました。そして、１年生から６年生の各クラスでは。通知表渡しが行われました。新型コロナウイルス感染症の波は学校生活に大きく影響を与え、子ども達にはさまざまな我慢を強いてきたことだと思います。しかし、そんな中でも子ども達は本当によく頑張ってくれました。今日渡された通知表には、子ども達一人ひとりの頑張りが書かれています。子ども達がお家に帰りましたら、是非ともお子さんと一緒に通知表を見ていただき、それらの頑張りについてお話をしていただきたいと思います。そして、後期に向けてのエールを送っていただきますようお願いいたします。

先週、通知表の見方として、学校から「一人ひとりの成長をねがって」と題したお便りを出させていただきました。その中で、２点お伝えしていなかったことがありますので、そのことについて、あらためて追加事項としてお伝えさせていただきます。

まず１点目は授業日数についてです。４～６年生につきましては、夏休み明けから約１ヶ月学校に登校せずオンライン授業を受けてもらいました。報道でもご存じの方もおられるかと思いますが、文科省では『オンライン授業の場合は授業日数としてカウントしない』としています。したがいまして、登校して授業を受けていた１～３年生よりオンライン授業を行っていた日数分、授業日数が少なくなっています。しかし、オンラインで行いました授業にも、子どもたちはしっかりと取り組んでおり、対面授業と同様評価の対象とさせていただいております

もう１点は、体育の保健領域の評価についてです。今回の通知表は７月までの学習内容で評価していますので、それまでの期間で保健領域を学習しなかった学年については評価を行うことができません。そのため、学年によっては保健領域の評価欄は斜線を入れさせていただきました。

なお、特別支援学級の通知表も、その子に合わせた観点別評価を、学習の様子・行動の様子とも文章評価にする見直しを行いました。

以上の点につきまして、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

子ども達の登校時刻について、ご協力ありがとうございます。

夏休み明けから、学校の開錠時刻を７：４５とし、子ども達の安全を守るための取組とさせていただいております。ご協力ありがとうございます。

しかし、まだ、若干名開錠時刻より早く登校し校舎の前で待っている児童もおります。それだけ、登校を楽しみにしてくれているのは大変喜ばしいことではありますが、校舎前の密を避ける意味でも、あらためて７：４５以降の登校をお願いします。

夏休み明けからのさまざまな活動

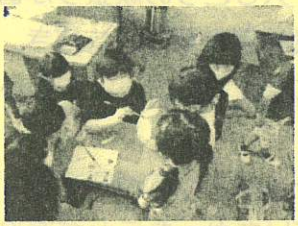
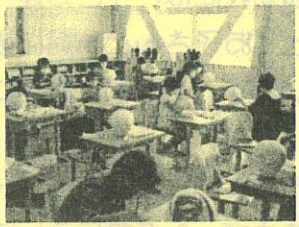
新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除され、学校ではそれまで実施を控えていた活動があらためて動き出しました。解除後のさまざまな活動をご紹介します。

たんぽぽ学級の野菜作り

たんぽぽ学級の子ども達が学級園を使って野菜作りを始めました。畑作業の先生は業務員の北村さんと学習指導員の長谷川先生。芽キャベツ、ブロッコリー、ラディッシュ等々、できるだけ早く収穫できるものを選んで、苗を植えたり、種を蒔いたりしました。この間、早くも可愛い大根を少し収穫し、お家へ持ち帰っていました。

どんな料理になったのかな。

１年生の気球作り

１年生は、作品展に向けて作品づくりに取り組んでいます。作っているのは『気球』。どの子の気球も夢のある柄で、子ども達はそれぞれ思いを膨らませて一生懸命取り組んでいます。作品展を楽しみにしていて下さい。

５年生のわら草履作り

５年生は米作りの活動の中で、毎年わら草履作りに取り組んでいます。今年も田植えから始まり、８月に刈り取られた稲の稲わらを使って草履づくりを行います。この間行ったのは鼻緒作りです。子ども達はそれぞれ要らなくなったＴシャツを切って紐状にしたものを使って鼻緒の部分を作っていました。どの子もみんな職人さんのようでした。

～新しい出会い～

１０月１１日から１Ａと２Ａと５Ａに教育実習生が入っています。例年であれば実習期間は４週間なのですが、今年も新型コロナウイルスの関係で、例年の半分の２週間の期間となっています。本来であれば９月１日からの予定だったのですが、これもまた、緊急事態宣言発出のため、変更をせざるを得ませんでした。教育実習では教師を目指している学生が教師として実際に子ども達の教育に携わり、学習指導や子ども達との関わり方などを学びます。自分たちに関わってくれる先生が増えて、子ども達はいつも以上に張り切っています。私たち現職の教員にとっても、さまざまな場面で初心に戻らせてもらうこともあり、いろいろな刺激をもらっています。実習生の皆さんが、やがて社会人となり教育現場で子ども達の成長に関わってくれることを願っています。